

公開二周年
記念上映

GUARDIANS OF THE HARVEST

鹿の国

生き神とされた少年が見たもの。

鹿なくしては御神事ハすべからず



鹿の国

監督：弘理子 プロデューサー：北村皆雄

語り：能登麻美子、いとうせいこう

音楽：原摩利彦

撮影協力：諏訪大社

製作・配給：ヴィジュアルフォークロア

ヴィジュアル
フォークロア

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



神秘に包まれた少年の生き神・大祝
と鹿の贊の祭には、忘れかけていた
いのちの循環への祈りがあった。
日本で最古の神社の一つ、諏訪大社
の四季の祭礼を追い、中世の秘儀を再
現したドキュメンタリー。



2025 年 / 98 分 / カラー / 日本 / 日本語 / DCP

©2025 Visual Folklore Inc.

<https://shikanokuni.vfo.co.jp>



日本列島のへソ、諏訪盆地に位置する日本最古の神社の一つ、諏訪大社。年間200回を超えるその祭礼は謎に満ちている。重要神事で降ろされる精霊・ミシヤグジ。そして神事に欠かせないとされた鹿の生贄……。ネパールやチベットで生と死の文化を追ってきた監督・弘理子は、四季の祭礼を追ううち、そこにあるいのちの循環への原初の祈りに気づく。そして、長らく畏怖と謎に包まれてきた中世の「御室神事」の再現に挑む。厳冬の3カ月間、神域の穴倉に籠められた生き

なぜこの土地に、 これほど心が騒ぐのか？

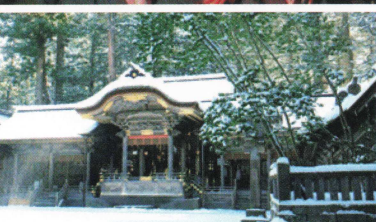
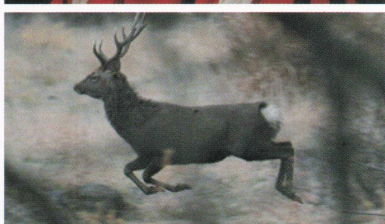
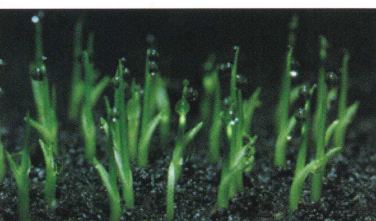


鹿の国

GUARDIANS OF THE HARVEST

神・少年大祝の前で繰り広げられた芸能とは？そして春4月、化粧を施されて出現する大祝に捧げられた75頭の鹿の首の意味とは？冬から春へ、死から再生へ。美しい四季とともに3年をかけて描き出された、現代社会を生きる私たちが忘れかけていた原初の祈りの姿。

数々の映像民俗学作品を手がけてきた北村皆雄がプロデューサーを務める。語りは、声優の能登麻美子というせいこう。大ヒット映画『国宝』の本編音楽と主題歌を手がけた原摩利彦が、音楽を担当している。



監督：弘理子
プロデューサー：北村皆雄
語り：能登麻美子・いとうせいこう
音楽：原摩利彦
出演：中西レモン・吉松章・諏訪の衆
芸能監修：宮嶋隆輔
太鼓：塩原良 笛：愛蓮和美
撮影：毛利立夫・三好祐司・明石太郎・矢崎正和
整音・音響：斎藤恒夫
編集：高橋慶太
EED：和田修平
監督助手：高橋由佳
制作デスク：渡邊有子
制作協力：山上亜紀
CG：山田みどり
題字：吉澤大淳
劇場公開：遠藤協
イメージアート：大小島真木
宣伝デザイン：岩田和恵
宣伝：Playtime
ガイドブック編集：石笠穂高

協力：諏訪圏フィルムコミッション

撮影協力：諏訪大社

製作・配給：ヴィジュアルフォークロア

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（映画創造活動支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

©2025 Visual Folklore Inc.

ヴィジュアル
フォークロア



めぐりくる春、公開1周年記念上映
2026年1月2日(金)より

ブルーレイディスク 特別販売・サイン会なども予定!

ポレポレ東中野

03-3371-0088

pole2.co.jp

東京都中野区東中野4-4-1 地下

岡谷スカラ座

0266-22-2773

userweb.alles.or.jp/scalaza/

長野県岡谷市中央町2丁目4-14